

ワクチン接種間隔「3カ月以上」に短縮へ 高齢者ら年内に5回目可

2022年10月19日毎日新聞

厚生労働省の専門部会は19日、新型コロナウイルスの追加接種用ワクチンについて、「5カ月以上」としていた接種間隔を「3カ月以上」に短縮する案を了承した。同省は近く短縮を正式決定する。

重症化のリスクが高い高齢者の多くは今年7、8月に4回目接種を済ませており、接種間隔の短縮により、これらの人も年内に5回目の追加接種を受けられるようになる。今冬は季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されており、政府は追加接種を加速させ、流行の波を抑制したい考えだ。

接種間隔の短縮を認めるのは、ファイザー、モデルナ両社のオミクロン株対応ワクチン（2価ワクチン）と、従来型のワクチン。5～11歳向けの小児用ワクチンの追加接種は、従来通り5カ月間隔を維持する。

国内で9月から実用化された2価ワクチンは、ファイザー社製が12歳以上、モデルナ社製が18歳以上が対象。2価ワクチンの追加接種により、オミクロン株に対し従来型ワクチンを上回る重症化予防効果や、一定の発症や感染を防ぐ効果が期待できるとされる。

厚労省は9月、2価ワクチンを承認した際、接種間隔を5カ月以上と設定。当初は供給量が限られており、接種現場でワクチン不足を招かないための政策的判断だったが、米国が2カ月以上、欧州が3カ月以上の接種間隔としていることから、専門家から短縮を求める意見が出ていた。

一方、厚労省は1～2回目を未接種で、接種を希望する人に対して、従来型ワクチンの供給が年内で終了するとして、年内に接種を終えるよう呼びかけている。【村田拓也】

今日のyoutube紹介下線をクリック

- ワクチン副反応の相談がある35%ワクチン接種後に亡くなった人がいるという報告も
<https://news.yahoo.co.jp/articles/b279535be083d485591ba6bed9a6f137de8f7a35>
- オミクロン株対応ワクチン 接種間隔「3か月」に短縮 厚生労働省専門部会
<https://news.yahoo.co.jp/articles/60d4f1ae597cffa2201c70b17ef3c52d6aa8c167>
- 【大分】新型コロナ インフルエンザとの同時流行に懸念
<https://news.yahoo.co.jp/articles/9d4099e6275dde978ad0de5e8c79c776e2d7089e>
- 都医師会会長「感染者数、若干増えつつある」 要因は…
<https://news.yahoo.co.jp/articles/ad13185460c40d0f4fdab78f5ac18f4dbfd1ba30>
- 静岡県内で1420人感染確認前週同曜日より480人増で7日連続上回る
<https://news.yahoo.co.jp/articles/8ad5eb051742a6f29ad150cf3ba7e5de44203b02>
- 【緊急事態です】これから、爆増する可能性は十分に考えられますよ！しかし、それには条件がありますね！
<https://www.youtube.com/watch?v=cYK88YX3mmk>
- 新型コロナ・インフル同時流行なら 発熱外来の受診“制限”？ 政府案と「課題」は
<https://www.youtube.com/watch?v=aHseWNODW7o> 見てね

今日のPDF紹介下線をクリック

- 「言い方難しいですね」 伝わらぬ実態・提言、尾身茂氏の苦悩
- 「2022年・新型コロナ子どもにメリット大、データで裏付けワクチン、学会が「推奨」に転換
- 「2022年・新型コロナ「軽症」でもつらい、自宅療養